

令和7年2月18日

報道機関各位

(北海道赤潮対策緊急支援事業（国委託事業）を受託しました)

北海道赤潮対策共同研究機関（代表：道総研）は、北海道の赤潮に関する国の調査研究事業（令和6年度補正予算事業）を受託しました。

◎受託事業名

令和6年度北海道赤潮対策緊急支援事業のうち漁場環境改善緊急対策事業

◎受託者

北海道赤潮対策共同研究機関（代表：道総研）
（構成員：道総研、国立研究開発法人水産研究・教育機構、北海道）

◎期 間

令和7年2月3日から

◎内 容

- ① 赤潮の発生メカニズムの解明に向けた調査研究
赤潮発生時の海洋環境情報の収集・分析並びに赤潮による深い水深への影響及び赤潮プランクトンの増殖等の特性に関する調査研究を実施します。
- ② 赤潮被害軽減技術の調査研究
既存の赤潮駆除剤や底質改善材の効果検証ならびに陸上施設における赤潮被害軽減策を検討します。
- ③ 赤潮のモニタリング及び予察の技術開発
赤潮プランクトンの出現状況調査や海洋環境調査に加え、顕微鏡観察よりも高感度な遺伝的検出手法による分布確認や衛星画像による広域監視技術の開発等に取り組みます。
- ④ 開発された技術の移転
赤潮プランクトンの同定技術等について、太平洋沿岸の水産関係者を対象とした研修会を開催し、赤潮の早期発見と迅速な対応が可能な体制を構築します。

◎報道に当たってのお願い

記事掲載にあたり組織名を省略して表記される場合は、道総研水産研究本部中央水産試験場、もしくは道総研中央水産試験場として下さい。

発信元：

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）
水産研究本部 中央水産試験場 資源管理部

電話 0135-23-8706 ※平日8:45~17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。